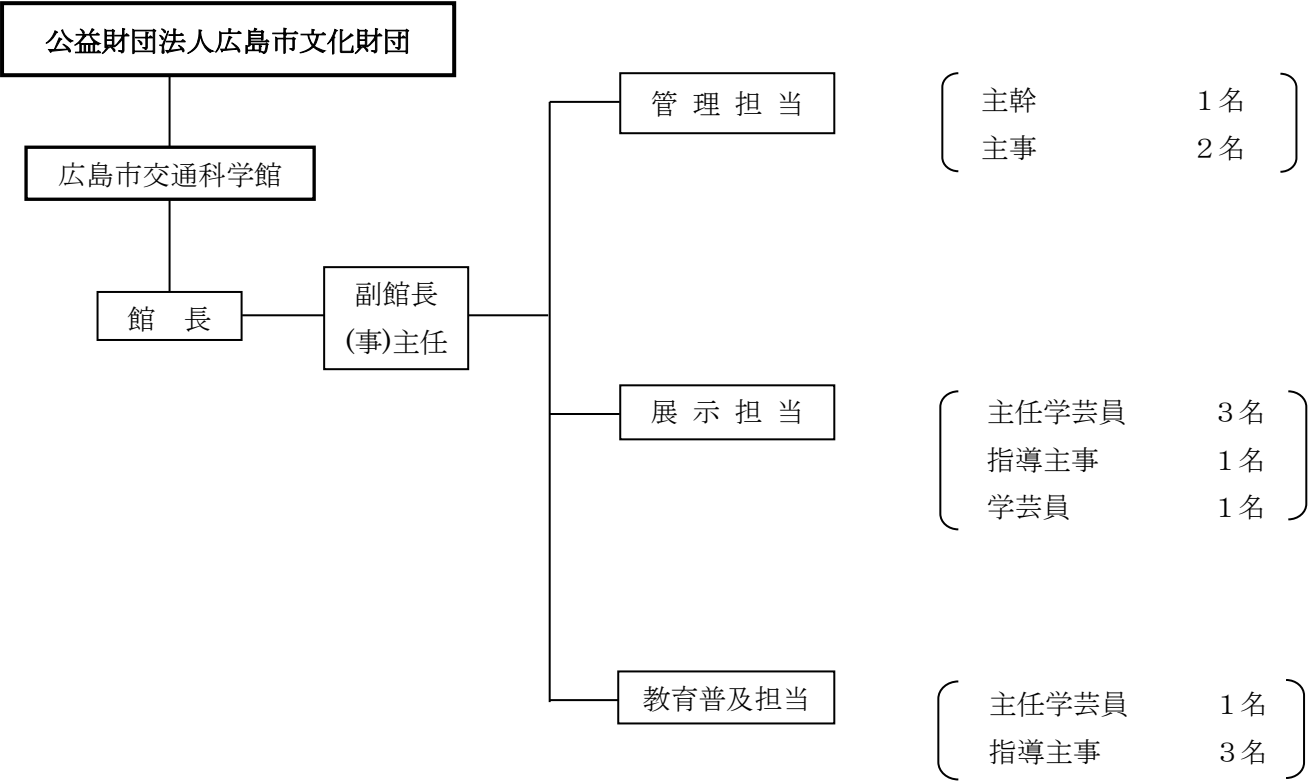


組織及び職員数

令和5年4月1日現在



計14名

8/22(火)停電のため13:40から臨時休館

1. 展示事業

●令和5年度 展示事業 実績報告

I 常設展示

(1) 世界の乗り物

当館では、航空機・船舶・鉄道・自動車の各分野における技術の発達を伝える乗り物模型2,000点以上を所蔵しており、その一部を分野別に展示しています。これら乗り物にかかわる情報は、当館独自の乗り物模型データベース「ハイパーブックWEB」で調べることができるようになっています。

(2) ハイパーブック

乗り物の発達に関する物語や、それぞれの乗り物の特徴などの情報について、ビークル博士の案内で絵本を読むように楽しく、また百科事典をひもとくように詳しく調べることができます。令和3年3月からは、館内各所に設置された端末はもちろん、スマホやタブレットからも利用できる「ハイパーブックWEB」に進化しました。

(3) シティランナー

正面の画面に現れる街（ビークルシティ）に入り込み、自転車で散策するように、また電車を運転するような感覚でその中を仮想移動体験できます。

(4) エポックシーン

ライト兄弟が初めて動力飛行した日の感動的なシーンやベンツの三輪車が走行する様子など、乗り物に関連した歴史的な4場面をミニジオラマでドラマティックに表現しています。カプセルの窓から中をのぞき込むような形で、各乗り物の名場面を見ることができます。

(5) ビークルシティ

日本最大級・直径20mの巨大な交通パノラマ模型です。「空港」「オフィス」「文化・アミューズメント」「住居・学校」「シティリゾート」「生産・物流」の6つのエリアと、これらをむすぶ乗り物・交通のシステムを模型で構成しています。音楽や照明を使って、いきいきとした活気あふれるビークルシティの朝・昼・夜の一日を表現しており、人々の暮らしと乗り物が毎日の生活の中でどのように関わっているかを見ることができます。

(6) シティガイド

巨大交通パノラマ「ビークルシティ」で使われている乗り物や交通の仕組みやシステムを、エリアごとに情報検索できる情報端末装置です。

(7) ビューカプセル

ビークルシティを見下ろすように設置された青・緑・赤・黄の4色の特殊映像カプセルで、青・緑色のカプセル内では、映像と音響によりビークルシティの中で繰り広げられるさまざまな物語をダイナミックなコンピュータ映像で体験できます。また赤・黄色のカプセルでは、ビークル博士のおもしろくてためになる乗り物のお話を視聴することができます。

Ⅱ 企画展示など

(1) 春季企画展「月につきすすめ! - 月探査の過去・現在・未来 -」(令和4年度からの継続事業)

ア 期 間: 令和5年4月1日(土)～5月7日(日) (うち開館日32日)

イ 開催場所: 2階特別展示室 ほか

ウ 観覧者数: 14,762人(入館者総数)

エ 展示内容: ロケットや月面探査車、宇宙服など宇宙で活躍する乗り物や機材を展示・解説するとともに、アポロ計画など月探査の歴史と将来を紹介しました。

【主な展示品】

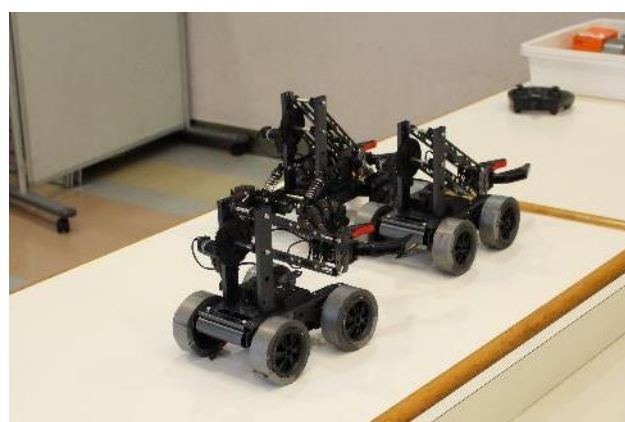
模型展示: アポロ月面活動服(レプリカ)、EMU宇宙服(レプリカ)、未来型月面活動服(レプリカ)、サターンVロケット(1/144)、N-1ロケット(1/144)、アポロ宇宙船(1/50)、クルードラゴン(1/48)、SLS(1/144)、未来型月面車(1/3) など

映像展示: 月への挑戦、月面活動、野口宇宙飛行士 ISS 搭乗ミッション、若田宇宙飛行士 ISS 搭乗ミッション、アルテミス I ミッション、かぐや総集編__地球の出



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
ロボットローバー操縦体験(雨天中止となったペットボトルロケット発射体験の代替事業) (1日2回)	2	160	1階レストスペース



(2) 夏季企画展「PUI PUI モルカーとわくわくクルマワールド」

ア 期 間: 令和5年7月14日(金)～9月3日(日) (うち開館日45日)

イ 開催場所: 2階特別展示室、1～2階エレベーター前、3階ビークルシティ

ウ 観覧者数：27,543人（入館者総数）

エ 展示内容：「もし車がモルモットの姿をしていたら？」をコンセプトにした幼児向けパペットアニメーション、「PUI PUI モルカー」の舞台であるドライビングスクールのキャラクターや場面写真を中心に、身近な車や交通ルールなどを展示・紹介しました。

【主な展示品】

実物展示：実際の撮影に使用されたパペット「教習ポテト」

関連グッズ展示：モルカーと車業界のコラボグッズ、コロコロフレンズシリーズ、はしる！ポテト／シロモ／テディ／チョコ／ローズ／ポンタ

映像展示：PUI PUI モルカー DRIVING SCHOOL PV、SA・PO・PO（サ・ポ・ポ）CM、モルモットの様子、自動車学校に行ってみた with ペーター、水上タクシーに乗ってみた with タクシーモルカー



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
のれる！PUI PUI モルカー in スマジ交通ミュージアム（1日2回）	8	1,187	1階レストスペース
ちびっこ教室（1日3回）	9	592	1階クラフトルーム
小学生工作教室	3	78	1階クラフトルーム



（3）秋季企画展「爽快！乗り物アクティビティ」

ア 期 間：令和5年10月14日（土）～12月3日（日）（うち開館日44日）

イ 開催場所：2階特別展示室、1階エントランスフロア ほか

ウ 観覧者数：17,310人（入館者総数）

エ 展示内容：広島県を代表する乗り物アクティビティを、実物、写真パネル、映像等で展示・紹介しました。

【主な展示品】

超軽量動力機、ジムカーナ車両、アウトリガーカヌー、レーシングカート、電動アシスト付きマウンテンバイク、バギーカー、サーフスキー、シーカヤック、スタンドアップパドルボード、リバーカヤック、パラグライダー、ハンググライダー など



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場 所
パラグライダーシミュレーター体験	4	404	2階特別展示室
ペットボトルロケット発射体験（1日2回）	2	547	屋外広場
ちびっこ教室（1日3回）	9	366	1階クラフトルーム



（４）春季企画展「ごみ収集車は今日も行く」（６年度への継続事業）

ア 期 間：令和5年3月3日（金）～3月31日（金）（うち開館日20日）

イ 開催場所：2階特別展示室、1階エントランスフロア ほか

ウ 観覧者数：9,367人（入館者総数）

エ 展示内容：ごみ収集車の実車をはじめ、写真や映像を通じてその仕組みや工場での製造の様子、加えてごみ収集や処理・リサイクルなどの過程について紹介しました。

【主な展示品】

実物展示：回転式塵芥車「G-RX」、回転式塵芥車「パックマン」、着物リメイクポーチ、ごみ収集枠、制服、
「収集できません」ステッカー、ごみのインゴット、ごみのおはなし（冊子）

映像展示：解説！ごみ収集車のしくみ、ごみ収集車はどこへ行く？、西部リサイクルプラザ 資源ごみはどうなるの？



オ 関連イベント

事業名・内容等	回数	参加人数	場所
ごみ収集車乗車体験（1日2回）	2	608	1階 エントランスホール
ギャラリートーク	1	27	2階特別展示室
講演会「ごみ収集車と学ぼう！ごみのこと」	1	48	1階多目的ホール



（5） ビークルギャラリー

①「レアな標識あつめました」

ア 期 間：令和5年5月26日（金）
～6月25日（日）
（うち開館日24日）

イ 開催場所：2階特別展示室

ウ 観覧者数：8,021人（入館者総数）

エ 展示内容：数多くある道路標識の中から、ほとんど見ることのない珍しい図柄のものを写真とともに紹介しました。



②「安佐南区防災ネットワーク事業パネル展示」

ア 期 間：令和5年8月23日（水）

～9月3日（日）

（うち開館日11日）

イ 開催場所：1階ガイダンスコーナー外縁

ウ 観覧者数：3,398人（入館者総数）

エ 展示内容：土砂・豪雨災害の様子や防災に関する情報をパネルで紹介し、あわせて防災用品を展示しました。



③「収蔵品展 秘蔵の逸品－自動車編－」

ア 期 間：令和5年12月22日（金）

～令和6年2月12日（月）

（うち開館日40日）

イ 開催場所：2階特別展示室

ウ 観覧者数：6,021人（入館者総数）

エ 展示内容：普段は収蔵庫に保管されている数多くの資料のなかから、魅力的な資料を展示しました。



Ⅲ その他

被爆電車車内公開

ア 時 期：毎月第3土曜日など（1日2回）

計16日（32回）

イ 開催場所：屋外広場

ウ 参加者数：3,558人

エ 実施内容：被爆しながらも戦後も長く活躍した広島電鉄650形路面電車（654号）の車内を一般公開しました。



2. 教育普及事業

●令和5年度 教育普及事業 実績報告

交通科学館では、乗り物や交通に対する興味・関心を喚起し、知的好奇心を満たしていく事業として、工作教室やサイエンスショー、ビデオ上映会などを実施してきました。令和5年度は参加要件の緩和やデジタルサインの導入、web 申し込みの本格的な導入など、気軽に市民が参加できるような環境を整えました。

I 教室事業

(1) ちびっこ教室 ●実施日数 64 日(192 回) 参加者数 7,429 人

主にファミリー層の来館が多い日曜日や祝日に、幼児から小学校1・2年生児童を対象として実施している入門編の工作教室です。「色を塗る」「はさみを使う」といった工作の基本を重視するとともに、作る楽しさや工作物を完成させる面白さを体験できるような内容で運営しています。



(2) 小学生工作教室 ●実施日数 23 日(26 回) 参加者数 674 人

小学生を対象にし、元技術者や教員経験者などを講師に迎え「動くもの」を作る工作教室です。モーターや磁石、ペットボトル・牛乳パックといった身近な素材を上手に使用した工作を実施しました。



(3) 大人の工作教室 ●実施日数 5 日(5 回) 参加者数 41 人

大人を対象とした工作教室で、木工を中心にこども向けのおもちゃづくりなどを実施しました。



(4) 乗り物テクノ教室 ●実施日数 3日(3回) 参加者数 38人

小学校5・6年生から中学生を対象として、電動飛行機やホバークラフトなど、内容にふさわしい専門家を招聘し、工作を通じて乗り物の原理や仕組みを学ぶ教室です。



(5) ペーパークラフトフェア ●実施日数 1日(2回) 参加者数 63人

ミュージアムショップで販売している市販品のペーパークラフトをクラフトルームで工作するイベントです。



Ⅱ ホール事業

(1) ビークルシアター ●実施日数 30日(88回) 参加者数 3,489人

こども向けを中心に、主に新幹線やはたらく車など、乗り物や交通に関するアニメーションや実写映像などのDVDを上映しました。



(2) サイエンスショー ●実施日数 22日(66回) 参加者数 2,866人

物理や化学の視点から乗り物の動く仕組みや原理を、実験を通して楽しく・わかりやすく解説し、科学を身近なものと感じてもらえる実験ショーを実施しました。



(3) あそびのひろば ビークルランド ●実施日数 14日(24回) 参加者数 2,255人

ラジコンを自由に操作できるイベントや、鉄道やブロックなどのおもちゃで自由に遊ぶイベントなどを開催し、こどもと大人と一緒に遊ぶ場を提供しました



(4) ビークルお楽しみステージ ●実施日数 6日(10回) 参加者数 1,036人

消防音楽隊の演奏会や地元大学生による人形劇と紙芝居、プロパフォーマーによるバルーンショーやヒーローショーなどを企画・上演し、交通安全をはじめ、防火・防犯などの啓発を行いました。



(5) 乗り物セミナー ●実施日数 4日(4回) 参加者数 75人

JALの協力による航空教室や令和6年4月に廃止となったスカイレールの見学会、市立工業高校の自動車に関する出前講座などを開催しました。



(6) ビークルパーク ゲーム&実験体験・クラフト体験 ●実施日数 6日 参加者数 2,438人

夏休み直後や2月の閑散期に、ものづくりや乗り物に対して興味・関心を高める催事として、多目的ホールとクラフトルームを使用し、自分で作った工作でゲームに参加できるコーナーや科学工作作品で遊ぶ体験など、当館で実施している教育普及事業を横断的に体験できる事業を開催しました。



(7) ウインターフェスティバル・春まつり ●実施日数 6日 参加者数 1,611人

正月明けの1月中旬と開館記念日のある3月中旬に、工作教室やホール事業を集中的に実施し、集客に努めました。



(8) 外部連携事業 ●実施日数6日(11回) 参加者数1,639人

JAF(日本自動車連盟)との共催で交通安全と関連させた「こども安全免許証交付」や「ドライバーズビジョン(反射神経測定ゲーム)」を定期的で開催したほか、広島市(道路交通局)やマツダ株式会社、広島県警察本部との共催で交通安全に関する最先端の技術を体験しながら学べる「交通安全チャレンジフェスタ」を実施し、普段できない体験を提供しました。



(9) 学校団体受け入れ事業 ●利用校数 26校 利用者数1,064人

社会見学や修学旅行など校外学習で来館した学校団体を対象に、工作教室やサイエンスショー、被爆電車の車内公開、平和学習用ビデオの上映などを実施しました。



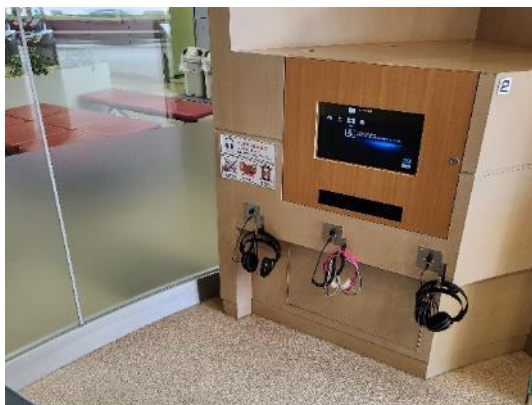
(10) 講師派遣 ●派遣回数 4 回 ※参加者数 182 人

公共施設や学校等が開催する講演会・工作教室などに、それぞれのテーマを得意とする館職員を講師として派遣しました。



(11) ライブラリー運営 ●利用者数 16,091 人

乗り物や交通に関する書籍や雑誌の閲覧および複写サービスを行っています。またビデオブースで使用する映像媒体のVHSテープからDVDへの切り替えが終了しました。



公益財団法人広島市文化財団ベンチマークス(広島市交通科学館)

令和5年度

使命 (ミッションステートメント)		乗り物と交通の楽しさを伝え、夢を育む総合的な博物館			
		存在意義	・多様化、高度化するニーズに応える学習の場 ・人文系、自然系の分野を超えた総合的な博物館		
		基本方針	・人類の英知の結晶としての「乗り物と交通を総合的に展示する博物館」 ・博物館も教育現場であると位置付けた「学校教育と連携する博物館」 ・広島ของ乗り物と交通の資源を取り込んだ「地域を生かす博物館」 ・市民参加を中心とした「体験する博物館」 ・見て・聞いて・触れて来館者の「夢を育む博物館」 ・市民の学習意欲に貢献する「頼れる博物館」		
		事業の実施方針	○より広く・より深く ・乗り物と交通を多面的にとらえた展示、多彩な展示手法 ・館内にとどまらず現地に赴く事業 ・市民が主体的に活動する場の提供 ・ハンズ・オンやマルチメディア等の手法を用い、知る喜びに目覚め、夢を育む ・SDGsを念頭に、その普及啓発に努める		
事業領域	領域目標	事業	事業目標	目指す成果(業績指標)	目標値→実績値
経営管理	設置目的の達成	事業全体	乗り物と交通に関する市民の興味と関心を高め、理解を深める場を提供する	乗り物と交通への理解・関心が高まったと思う利用者の割合 年間総来館者数(カウンター数値)	80%以上→80.4% 146,300人以上→117,632人(達成率80.4%)
	温かくもてなす心構えと洗練された手法・知識に基づいた的確かつ臨機応変な来館者対応	ユニバーサルデザイン、接客・接遇	館内環境、来館者対応の充実	館の印象がよかったと思う利用者の割合	80%以上→91.2%
展 示	市民の乗り物と交通に関する関心を高める。(乗り物・交通に対して夢を育む)	常設展示	人文系・自然系の分野を超え、親子で楽しめる「総合的な博物館」をめざす	常設展示がよかったと思う利用者の割合	80%以上→83.3%
		展示・収蔵資料の維持管理		「調整中」の常設展示数(同時最大値)	3件以下→1件
		企画展示		企画展示がよかったと思う利用者の割合	80%以上→94.8%
普及啓発	市民への情報提供や学習機会を提供する	講座・教室事業	ニーズを迅速に反映した事業の提供	内容に満足した参加者の割合	80%以上→94.4%
				リピーター率	50%程度→41.6%
調査研究	あらゆる市民のニーズに対応できる情報を蓄積する	資料整理事業	乗り物と交通に関する資料収集とデータベース化	乗り物模型収集展示点数	5点以上→3点
		調査研究事業	乗り物と交通に関する調査研究と成果の還元	館外調査実施件数	5件以上→27件
				レファレンスに対して有効な回答ができた件数	5件以上→8件
				専門職員の学会発表・講演会講師等の回数	3回以上→4回
連 携 学習支援	学校教育や他の施設・団体等と連携して、事業内容や利用者の多様化を図る	学校教育との連携	学校教育との融合	年間来館学校数	50校以上→48校
				事業プログラム等が学習の参考になったとする割合	80%以上→77.3%
		地域活動等との連携	地域内で行われる行事等への積極的な参加	支援・連携した事業数	2件以上→11件
				事業内容に満足した参加者の割合	80%以上→95.9%
		情報発信事業	HP等の効果的運用と、的確な広報の実施	ホームページアクセス件数	72,000件以上→103,927件
				ホームページの更新回数	30件以上→188件
				TV・新聞・ラジオ・雑誌・web記事等で取り上げられた件数	10件以上→6件
市民活動 支援・協働	ボランティア活動の場の提供	ボランティア事業	ボランティアの養成と組織の拡充	ボランティア登録者数	30人以上→23人
				活動を通して社会に貢献できたと感じたボランティアの割合	80%以上→73.9%
収 益	交通科学館の魅力・楽しさを商品群の陳列販売を通して演出	ミュージアムショップ事業	「ミュージアムの持ちかえり、知的ステップアップショップ」となる	ショップ利用者の商品の質・接客態度等が良いと思う人の割合	80%以上→74.8%